

## 愛知県保険医協会

## 学生会員ニュースNo.77

発行：愛知県保険医協会

住所：〒466-8655 名古屋市昭和区妙見町19-2

TEL：052-832-1345 FAX：052-834-3512

ホームページ <https://aichi-hkn.jp/> e-mail [aichi-hkn@doc-net.or.jp](mailto:aichi-hkn@doc-net.or.jp)

## 【学生会員のみなさんへ】

葉がきれいに色づき外を歩くのが楽しい季節となりました。すっかり風は冷え切っているのに、しっかり暖かくして読書や食、芸術などそれぞれの秋を楽しんでくださいね。

今回は、受験シーズンにちなみ医学部不正入試差別問題について紹介します。



## 医学部入試で行われていた女性差別問題

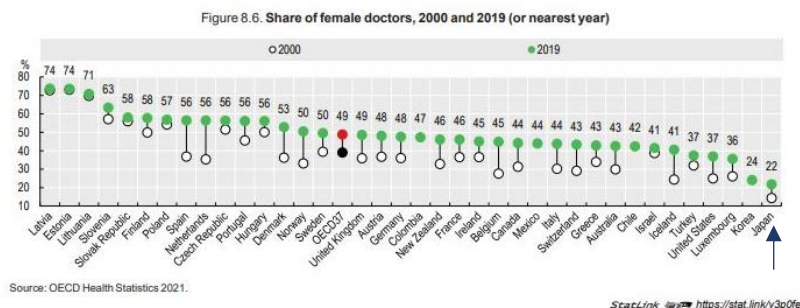
2018年、東京医科大学が医学部入試で性別を理由に不適切に取り扱ったとして東京地裁が損害賠償を命じました。問題が発覚した同年、他大学でも同様に不適切な対応が行われていたことが発覚し、女性受験生が女性という理由で、点数を操作されたことなどが世間に明るみになりました。この問題を受け2020年12月文科省による全国の医学部男女別合格率の公表が決まり、その後の2021年度入試ではデータが残っている2013年度以降で初めて女性の合格率が男性の合格率を上回りました。

女性差別が行われた背景は、女性医師の出産・育児による離職が要因とされていますが、女性という理由で不当に扱われることは性差別であり、なにより医師を志した努力を踏みにじるものです。

## 女性だけの問題ではない、医師の働き方の問題点

日本の女性医師比率はOECD加盟国の平均約5割に比べ約2割にとどまり低い状況にあります。(下記表)

また人口あたりの医師数もOECD加盟国の平均より少なく、医療現場では過労死ラインを超えるような過酷な働き方をせざるを得ません。キャリア形成と結婚、出産育児の両立が困難な状況が生まれています。



女性の出産等による離職は、こうした過酷な働き方により両立が難しいことが根本にあります。医師全体の働き方改善がされることは、女性だけでなく負担を背負っていた男性も働きやすい環境になります。性別に関係なく全ての医師が活躍できるよう医師の長時間労働の是正、医師の増員が必要です。

## 人間らしく働ける環境整備と入試差別再発防止を

今回の入試差別は医療現場の問題の一端に過ぎません。長時間労働を前提とした今の構造を見直し、全ての医師が性別に関係なく、働きやすい環境を整備することが求められます。

保団連では、男女ともに働きやすい医療界の実現のため、医学部入試の男女別受験者数・合格率の調査と公表を継続すること、性別にかかわらず人間らしく働ける環境を実現するため医学部の定員増など充実を求めています。医師を志すみなさんが、キャリアも家庭も諦めずに健康的に働けるよう、今後も問題を注視していきます。

